

例①：インバウンドなど交流人口のさらなる拡大

視点

- (検討ポイント)
- ◇交通拠点間をスムーズに移動できる交通アクセスの整備
 - ◇北海道ならではの観光列車の運行
- など

例②：利便性が高くストレスのない移動の実現

視点

- (検討ポイント)
- ◇使いやすさと分かりやすさ、快適さを追求した公共交通
 - ◇公共交通の利用定着に向けた住民の意識改革
- など

例③：交通と物流が連携した取組

視点

- (検討ポイント)
- ◇輸送事業者や地域と連携した輸送の共同化・効率化の促進
 - ◇“人・モノ協働輸送”の更なる促進
- など

例④：災害時の交通障害へ対応

視点

- (検討ポイント)
- ◇災害対応に向けた交通・物流の連携強化
 - ◇スマートフォンなどによる迅速な交通情報の提供
- など

例⑤：社会状況に対応した輸送環境の実現

視点

- (検討ポイント)
- ◇安定的な物流の確保に向けた幹線輸送の効率化
 - ◇輸送モード間の連携強化
- など

当面の課題①

災害時等における情報共有・発信及び対応強化

■趣 旨

台風や大雪、地震といった交通・物流に関して重大な自然災害が発生した場合などにおいて、交通機関の運休・遅延や道路の通行止めなどの発生に際し、利用者目線に立った交通情報の提供、利用者へのサポート体制の構築などが重要。また、昨年度まで開催していた「北海道交通・物流連絡会議」の検討事項について、引き続き検討する必要がある。

■取 組

交通・物流に関して重大な自然災害が発生した場合などにおいて、関係機関相互の情報共有が円滑に図られ、各団体が連携して対応が進められるよう、交通情報共有や、対応方策・対応強化などの事項について検討を行う。

「検討事項(案)」

- ◇関係機関相互の情報共有
- ◇交通拠点等における災害時の多様な交通情報の提供
- ◇運行情報等のオープンデータ化 など

■関連する企業、団体等：交通・物流団体・事業者、経済団体、観光団体、行政機関 など

交通情報の発信強化に向けた検討を進める

当面の課題②

本道の物流対策に関する検討

■趣 旨

社会状況や経済環境の変化に柔軟に対応できる輸送環境の実現のため、トラック輸送の効率化や農産物等の安定的な輸送に資する鉄道貨物輸送の確保、海上輸送における定期航路の航路拡大、関係者の連携による輸送の効率化や輸送モード間の連携強化等の取組が重要。

■取 組

本道における安定的かつ効率的な物流体制の確保に向けて、物流事業者等のほか経済団体や産業団体等の荷主との連携により、鉄道貨物輸送を含めた物流のあり方など本道の物流対策について検討を行う。

「検討事項(案)」

- ◇各輸送モードにおける現状・課題の共有
- ◇将来に向けた対応方策の検討（ケーススタディ）
- ◇道内間・道内一道外間における輸送網の検証 など

■関連する企業、団体等：交通・物流団体・事業者、経済団体、行政機関 など

各輸送モードが連携した輸送方策の検討を進める